

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農薬使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報

第4号

果 樹

発行日 平成28年 6月30日
 発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
 編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用QRコード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
 パソコンからは「<http://i-agri.net/agri/>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

- ◆ りんごは、広い地域でサビ果、斜形果、奇形果がみられるため、良質な果実を見極め、早期に適正着果数となるよう、摘果に努めましょう！
- ◆ ぶどうは、結実を確認のうえ、状況に応じた適切な摘房、摘粒を進めましょう。
- ◆ まとまった雨が1週間以上ない場合には、今年植栽した幼木を中心に灌水を行いましょよう！

りんご

1 生育状況

県内の定点観測調査結果によると果数結実率は概ね平年並となっていますが、県下全般に中心果結実率が低い傾向が見受けられます。また、花芽率は平年よりやや高め(平成27年12月調査)であるため、結実量は全般的に多いと推測されますが、地域・品種による開花量にバラツキが見られました。

一方、果実の肥大(横径)は、開花が早かったため、6月1日時点では平年比110~170%となり、その後も気温が高めで推移したため、6月21日時点の県平均も平年を上回る肥大となっています(表1)。サビ果や斜形果、奇形果がみられるため、良質な果実を見極めつつ、早期に適正着果数となるよう摘果に努めてください。

表1 県内各定点圃場における果実肥大(横径)状況(6月21日現在)

単位:mm

市町村	地区	つがる					ジョナゴールド					ふじ				
		本年(H28)	前年(H27)	平年	前年比(%)	平年比(%)	本年(H28)	前年(H27)	平年	前年比(%)	平年比(%)	本年(H28)	前年(H27)	平年	前年比(%)	平年比(%)
農研センター		43.0	49.8	37.9	86	113	42.4	47.8	38.6	89	110	40.2	44.9	35.4	90	114
岩手町	一方井	34.5	42.0	33.1	82	104	35.1	43.0	33.9	82	104	31.8	39.0	31.0	82	103
盛岡市	三ツ割	40.3	47.2	37.0	85	109	41.9	47.8	37.9	88	111	39.1	43.6	34.0	90	115
紫波町	長岡	39.4	44.1	38.5	89	102	39.1	44.3	38.5	88	102	39.3	42.9	34.8	92	113
花巻市	上根子	45.0	48.3	38.1	93	118	42.5	47.2	41.0	90	104	37.4	40.5	35.0	92	107
北上市	更木	-	-	-	-	-	44.9	49.7	42.4	90	106	41.5	43.1	37.6	96	110
奥州市	前沢区稲置	45.5	48.2	41.1	94	111	46.2	47.8	41.6	97	111	39.9	41.6	37.5	96	106
	江刺区伊手	39.8	40.6	35.7	98	111	41.5	44.9	36.8	92	113	36.4	38.6	32.2	94	113
一関市	花泉町金沢	43.2	49.0	39.9	88	108	43.1	45.3	39.5	95	109	37.1	38.9	34.3	95	108
	大東町大原	-	-	-	-	-	43.7	52.1	37.8	84	116	39.7	44.8	33.5	89	119
陸前高田市	米崎	43.1	48.5	38.4	89	112	46.1	48.4	37.8	95	122	40.4	43.3	34.5	93	117
宮古市	崎山	42.3	47.9	35.0	88	121	45.5	47.7	36.8	95	124	43.0	45.0	33.4	96	129
岩泉町	乙茂	-	-	-	-	-	42.4	45.2	35.3	94	120	40.6	38.2	32.1	106	126
二戸市	下山井	-	-	-	-	-	38.4	42.9	35.7	90	108	35.9	42.2	31.7	85	113
県平均(参考)		41.5	46.2	37.4	90	111	42.3	46.6	38.1	91	111	38.6	41.7	34.0	93	114

※ 県平均値に農研センターの数値は含まれていない

2 花芽分化と管理

7月に入ると、りんごは翌年の花芽分化が始まります（表2）。着果過多や日照不足、高温乾燥などが花芽形成を阻害する要因になりますので、① 早期の適正着果数への摘果、② 徒長枝の整理などによる日照条件の改善、③ 防除による健全な葉の維持、④ 適正な土壌水分管理に努めましょう。

（1）早期摘果のすすめ

りんごの果実は、摘果作業が遅れると小玉果となる可能性が高くなります。表3の摘果強度を参考に、仕上げ摘果および着果量の見直しを進めてください。開花量が多かったため、全般的に結実量は多い傾向がみられますので、次年度のためにも計画的に摘果を進めましょう。

（2）摘果のポイント

- ・三角実や扁平果など果形の悪い果実、病虫害果、サビなどの傷害果は摘果します。傷害果が多発し、正常果で適正着果数を確保できない場合は、傷害果もある程度残します。
- ・「ふじ」で果台が極端に長いもの（25mm以上）や短いもの（10mm以下）は、斜形果の発生割合が高くなるので、できるだけ摘果します（図1）。
- ・「ふじ」では、途中で肥大の止まる果実が出てくるので、随時見直しを行います。

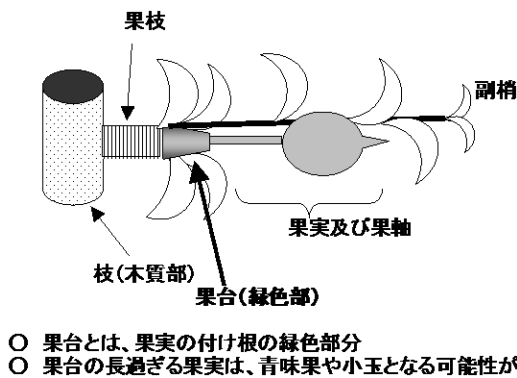


図1 りんご着果部の構成

（3）土壌水分管理

りんごの樹体にとって、土壌水分を適正に管理することが果実肥大、花芽の確保など健全な樹体の維持に有効です。

ア 乾燥対策

今後、高温、干ばつで経過する場合は、養水分の競合を避けるため草生を短く維持し、樹冠下に刈草やわら等でマルチします。また、畑地かんがい施設の整備が進められている地域では、適宜灌水を実施します。特に幼木は根量が少なく、乾燥の影響を受けやすいため、優先して実施してください。

イ 排水対策

降雨が続く、園地内が過湿となる場合、根部が障害を受けて樹勢が衰弱することがありますので、園地内に滞水しないよう、溝を掘るなど排水対策を講じましょう。

3 病虫害防除

今後、降雨が続くようになると、斑点落葉病や褐斑病、輪紋病、炭疽病等の感染が増えてきます。また、気温も高くなりハダニ類などの害虫も発生してきます。近年、各地で被害が増加しているヒメボクトウは、7月上旬のフェニックスフロアブルの散布により新たな樹体内部への食入を防ぐ効果が高いとされますので、被害がみられる園地では使用を検討してください。

病虫害防除所の発生予察情報や防除情報を参照し、園地の発生状況をよく観察して、適期防除に努めましょう。

表2 主要品種の花芽分化開始時期

時期	7月上	7月中	7月下
品種名	王林		
	陸奥・つがる		
		ふじ・ジョナ	

表3 主要品種の摘果強度

品種名	摘果強度
	わい性樹
紅玉	4～5頂芽1果
ふじ、つがる、王林、さんさ、千秋	5～6 "
ジョナゴールド、陸奥、北斗	6～7 "

ぶどう

1 生育状況（表4）

4月の気温が高めで推移したため、発芽・展葉は早まり、その後も気温は高めに推移した影響で、定点観測地点（紫波町赤沢）「キャンベルアーリー」の調査結果では、満開期は6月9日と平年より8日早まりました。その後も気温が高めで推移したことから6月15日現在の新梢の伸長も進み、節数、房長の生育も平年より進んでいます。

表4 ぶどう(キャンベルアーリー)の生育状況(観測地点:紫波町赤沢)

調査年次		生態			6月15日時点での生育		
		開花期			新梢長 (cm)	節数 (葉数)	房長 (cm)
西暦	元号	開花始	満開期	落花期			
2016	28	6/7	6/9	6/13	105.4	11.2	12.7
平年差・比		-7	-8	-8	141%	110%	125%
前年差・比		8	7	7	103%	90%	81%
2014	26	6/5	6/8	6/12	89.3	10.7	11.0
2015	27	5/30	6/2	6/6	101.9	12.5	15.7
平年(平均)値		6/14	6/17	6/21	74.9	10.2	10.2

2 管理の要点

(1) 摘粒

・果粒肥大を促すとともに、裂果や病害の誘発防止、着色向上といった品質確保に必要な不可欠な作業です。

満開後 30 日以内の終了を目標としますので、今年は7月上旬までに実施しましょう。

・詳細は、5月26日発行の「農作物技術情報第3号 果樹」をご覧ください。

(2) 袋掛け

・時期は7月上旬以降できるだけ早い時期が良く、摘粒などが遅れる場合には、晩腐病の一次感染期を逃さずに防除し、その後、袋かけを行うことが大切です。

(3) 摘房

・「キャンベルアーリー」では、表5を参考とし、葉数に応じて着房数を決定してください。最終的には一坪(3.3m²)当たり、新梢数20本、着房数27~30房が基準となります。樹勢が弱い場合は、1房当たりに必要な葉数を参照に、葉数に応じて着房数を制限して下さい。

・「紅伊豆」「シャインマスカット」などの大粒種では、1新梢1房が基本です。ただし、種あり栽培とする場合は、一気に摘房せず、強い新梢は、1新梢2房着果させておき、着色期前までに1房に摘房していきます。弱い新梢は、早期に1新梢1房とし、同様に着色期をめどに、伸長の程度に合わせて2~3新梢1房に調整していきます(図2)。

・着色期以降も着果が多いままだと、着色や糖度上昇が遅れ収穫自体も遅れるなど、樹体の凍寒害の危険につながりますので十分に注意してください。

表5 「キャンベルアーリー」の収量構成要素

品種	新梢数 (本/坪)	着房数		必要な葉数	目標収量 (kg/10a)
		(房/坪)	(房/本数)		
キャンベル アーリー	20	27~30	1.35~1.5	1房:12~16枚	2200
				2房:17~22枚	

新梢の勢力		作業時期		
		開花期	着色期	収穫期
強		摘穂 (第3～4花穂)		摘房 (第1または第2房)
中	強	摘穂 (第3～4花穂)		摘房 (第1または第2房)
	弱	摘穂 (第3～4花穂)	摘房 (第1または第2房)	
弱		摘穂 (全部)	→(空枝)	

図2 「紅伊豆」の新梢の強弱と摘穂・摘房時期

(4) 土壌水分管理

ぶどうの果粒が柔らかくなってきた時期以降に、まとまった降雨があったり、急激な灌水を実施すると裂果が助長されることがあります。

こうした園地では、点滴灌水等により少量の水を定期的に灌水することで裂果の発生を軽減できるといった報告がありますので、必要に応じて実施を検討してみてください。

灌水が実施できない園地では、稲わらなどを用いて、マルチを行いましょう。

逆に降雨が続く場合は、雨よけハウスでは、雨樋等を点検し、園地内に水が停滞しないよう、溝を掘るなど排水対策を講じましょう。

3 病虫害防除

(1) 病虫害の発生状況に合わせて適期防除に努めてください。

(2) 薬剤によっては、果粉の溶脱、果面の汚れなど品質を損ねることがありますので、使用方法・時期などに注意してください。

次回の発行予定日は7月28日(木)です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づき作成しています。発行年月日を確認のうえ、最新の情報をご利用ください。

**6月1日～8月31日は
農薬危害防止運動期間です**

- 近隣住民・周辺環境に配慮しましょう
- 農薬散布準備、作業中・後の事故に注意しましょう
- 農薬の保管・管理は適切にしましょう

中央農業改良普及センター・県域普及グループは、現地農業改良普及センターを通じて先進農業者に対する支援活動を展開しています。